

呉市幼児教育振興計画（案）について

1 計画策定の趣旨

乳幼児期の教育は、生涯にわたる学習の基礎を作ることがを重視しています。保育所（園）・幼稚園・認定こども園等では、豊かな感性を養うとともに、生涯にわたる学習意欲や学習態度の基礎となる好奇心や探究心を培い、小学校以降につながる「学習の芽生え」を育むことが必要です。

呉市では「第4次呉市長期総合計画」において、「未来を担う人材の育成」に重点的に取り組むとともに、「呉市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、子ども・子育てに関する施策を推進しています。

広島県では、「ひろしまファミリー夢プラン」において、たくましく健やかに生きる力を持つ子供たちを育成する環境整備が進められています。

こうした動向を受けて、幼児教育の充実を図るための施策の指針となる「呉市幼児教育振興計画」を策定します。

2 幼児教育の現状と課題

(1) 幼児教育を取り巻く状況

乳幼児期は、生涯にわたる人格形成の基礎が培われる極めて重要な時期です。

幼児教育に関わるに当たり、家庭、地域、保育所（園）・幼稚園・認定こども園等の連携がなされ、乳幼児の持つ良さや乳幼児の可能性の芽を伸ばす努力が求められます。

保育所（園）・幼稚園・認定こども園等においては、幼児教育を充実させることが必要であり、保育士・教員等には、乳幼児の主体的な活動を促す環境を計画的に設定することができる専門的な能力が求められているとともに、市全体として、更に質の高い幼児教育の振興を目指し、共通の方針を定めていく必要があります。

学校教育の始まりとして幼児教育を捉えれば、「生きる力」の基礎を育成する役割を担っており、乳幼児期の教育と児童期の教育が円滑に接続し、体系的な教育が組織的に行われるようにすることが求められています。

全国的に見ると、子どもの育ちが変化しており、多くの課題が指摘されています。また、社会状況の変化による家庭や地域の教育力の低下の中、子どものより良い育ちを実現する子育ての支援が求められています。

このような状況の中、「子ども・子育て支援新制度」がスタートし、質の高い乳幼児期の保育・学校教育を総合的に提供するための取組が進められています。

(2) 幼児教育の課題

- ア 小学校以降の「生活や学習の基盤」の育成や、特別支援教育の推進のための「保育課程」や「教育課程」の改善と、それに基づく具体的な保育・教育内容の充実
- イ 保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基

ついた研修の充実

ウ 開かれた園・所づくりの推進, 家庭や地域と一体となった取組の推進

エ 乳幼児と児童の交流, 保幼小が連携したカリキュラムの研究, 保幼小合同研修等,
研修内容の充実や研修機会の確保

3 幼児教育の充実を図るための取組

(1) 教育内容の充実

- ア 保育課程・教育課程の充実
- イ 豊かな心と健やかな体の育成
- ウ 言葉に対する感覚や表現する力の育成
- エ 特別支援教育の推進
- オ 情報提供と評価体制

(2) 「保育士・教員等」の資質の向上

- ア 研修機会の確保
- イ 研修内容の充実

(3) 地域ぐるみの教育の推進

- ア 地域における子どもの居場所や活動の場の確保
- イ 家庭教育への支援の充実
- ウ 交流の充実

(4) 保幼小連携教育の推進

- ア 保育所（園）・幼稚園・認定こども園等相互の連携
- イ 保育所（園）・幼稚園・認定こども園等と小学校の連携